

明日に希望を 改革を進めよう

■H20.5.9(金)PM3:00 ■能生商工会ホール
平成21年度より総代会制から総会へ移行



重点目標

- 一、商工会組織、財政の強化と指導事業の充実
- 二、情報化社会に対応した経営指導の推進
- 三、経営改善普及及事業の強力な推進
- 四、商工貯蓄共済、各種共済事業推進による財政基盤の確立
- 五、商工会事業評価システムの導入による事業推進



能生商工会
会長
土田 貞夫

地域・会員との結束を強化

アジア景気に引っぱられていた日本の経済は、アメリカの金融不安に端を発した諸問題に振りまわされ、我々地方の、そして中小企業の業績は急激な悪化をたどっております。加えて政治不信、格差拡大、食の不安、地球環境問題などが複雑に絡み合い、消費者心理はマイナス方向に向かっている理です。我々商工会を取巻く環境も、会員事業者数の減少や補助金体系の見直し傾向

など、一段と厳しさが増しております。

本年度は会員事業所の繁栄を願い、自立のための『学ぶ』をテーマといたします。

会員として、役員として、職員としてそのために何をしたいかなければならないのかを共に『学びながら、明日に希望を持つて改革を進めよう』と考えております。そして、会員の皆様のニーズにお応えした経営改善普及事業を展開すると共に、財政基盤充実や各

種事業の効率的運営のためにも、商工会職員がもっと積極的に担当の会員事業所へ、出向、会員や地域との結束を図って参ります。

また、商工会が皆様から気軽に立寄り、楽しく語り合っていただけの空間となる事を願うため、会館内部の改装を行います。是非、お出かけ下さい。どうか本年もよろしくお願ひいたします。



▲議長 中村康司

より、十九年度事業終了のお礼と新年度事業への会員皆様への協力のあいさつがありました。続いて出席者の互選により中村康司氏が議長に選出され審議に入りました。提出された議案は次の通りです。

午後三時に開会され、司会者後藤事務局長より出席者数七十八名、内委任状二十四名と報告があり、定足数を満たしているため本日の会が有効に成立することを宣言した後総代会に入りました。



▲監査報告 石井一治



▲来賓席